

【現代社会】

問題のねらい，主に問いたい資質・能力及び小問の概要等

第1問 問題のねらい

新聞部による学校新聞の作成を通して，作成する記事に関する現代社会の諸課題や記事で取り上げる思想等に触れながら，市場経済の機能と限界や青年期の特徴と課題等についての理解と，よりよい社会の在り方について「幸福・正義・公正」の観点等から考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	1	(1) 私たちの生きる社会 (2) 現代社会と人間としての在り方 イ 現代の民主政治と政治参加の意義 ウ 個人の尊重と法の支配 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方	個人の尊重の重要性についての理解 市場経済の機能と限界についての理解	様々な立場からの主張を，根拠に基づいて多面的・多角的に考察し，課題の解決に向けて，公正に判断することができる。	市営バスの減便に関する市民の意見を読み解いたうえで，市場経済の機能と公共サービスの在り方について，「幸福，正義，公正」の観点から考察する。
問 2	2	(2) 現代社会と人間としての在り方 イ 現代の民主政治と政治参加の意義 ウ 個人の尊重と法の支配	政治参加・社会参加の仕組みや方法についての理解 日本国憲法に定められた請願権についての理解		民主主義的な政治参加・社会参加の多様な在り方をとらえる。
問 3	3	(1) 私たちの生きる社会 (2) 現代社会と人間としての在り方 ウ 個人の尊重と法の支配 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方	経済的自由及び精神的自由についての理解 政策や制度を検討する観点をモデル図に位置づける技能	社会的事象等をとらえる「考え方」に基づいて対象を考察し，現代社会の諸課題を把握し，関連性や社会的な意味をとらえることができる。	経済的自由と精神的自由という二つの軸を設定したモデル図に，国や地方公共団体の政策や制度を適切に位置づける。
問 4	4	(2) 現代社会と人間としての在り方 ア 青年期と自己の形成	青年期の特徴と課題についての理解	概念や理論を活用し，社会的事象等の意味や意義を解釈することができる。	青年期の始まりに関する様々な考え方をもとに，現状を正しく説明したものかどうかを判断する。
問 5	5		防衛機制についての理解		防衛機制の役割についてとらえる。
問 6	6	(1) 私たちの生きる社会	「幸福，正義，公正」についての理解	社会的事象等をとらえる「考え方」に基づいて対象を考察し，現代社会の諸課題を把握し，関連性や社会的な意味をとらえることができる。	「幸福，正義，公正」に関する二つの考え方を基に，生徒の活動の意味を判断する。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 7	7	(1) 私たちの生きる社会	「幸福，正義，公正」についての理解 資料で示された「幸福」の内容を読み取る技能	様々な立場からの主張を，根拠に基づいて多面的・多角的に考察し，課題の解決に向けて，公正に判断することができる。	資料で示されたラッセルの「幸福」についての考え方を基に，幸福への努力の仕方を考察する。
問 8	8	(1) 私たちの生きる社会 (2) 現代社会と人間としての在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加の意義 ウ 個人の尊重と法の支配	「幸福，正義，公正」についての理解 資料で示された「正義」の内容を読み取る技能	概念や理論を活用し，社会的事象等の意味や意義を解釈することができる。	資料で示されたキング牧師の「正義」の考え方の特徴を考察する。
問 9	9	(1) 私たちの生きる社会 (2) 現代社会と人間としての在り方生き方 ア 青年期と自己の形成	先哲の主張や思想についての理解		大衆社会の特徴を分析したアドルノの主張や思想の特徴をとらえる。

第2問 問題のねらい

地方自治制度と政治参加，行政，政治制度，国際社会の動向についての理解と，概念や理論を活用し，人々の行為の意味をとらえる力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	10	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加の意義	日本の地方自治における直接請求権に関する理解		日本の地方自治における直接請求権のうち，条例の制定または改廃と議会の解散請求の仕組みをとらえる。
問 2	11		団体自治と住民自治についての理解 資料から地方自治の原則を読み取る技能	概念や理論を活用し，制度や政策の本質，又は日常生活に見られる人々の行為の意味をとらえることができる。	住民自治の考え方を基に，資料で示されたトクヴィルの文章の意味について判断する。
問 3	12		日本の法制度と行政の関わりについての理解		中央省庁と公務員に関する法制度の現状をとらえる。
問 4	13	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加の意義 ウ 個人の尊重と法の支配	衆議院の解散に関する理解		衆議院解散の根拠となる憲法上の規定をとらえる。
問 5	14	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割	国際政治の主要な出来事に関する理解 国際経済の主要な出来事に関する理解		現代の国際政治の展開について国際経済とともに時系列的にとらえる。

第3問 問題のねらい

最高裁判所の判決文を通して、国民主権、基本的人権等の概念に関する理解と、それらの概念を活用し、選挙や教育に関わる制度について多面的・多角的に考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	15	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加の意義 ウ 個人の尊重と法の支配	議会制民主主義についての理解 議院内閣制と大統領制についての理解		国家の仕組みを構成する様々な制度と議会制民主主義の関係をとらえる。
問 2	16	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 ウ 個人の尊重と法の支配	日本国憲法前文の意味についての理解 主権の概念についての理解		判決文の中で示された内容に対応する憲法前文の定めをとらえる。
問 3	17	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加の意義	議会制度についての理解	様々な立場からの主張を、根拠に基づいて多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて、公正に判断することができる。 社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。	一院制又は二院制が採用されている実際の議会をとらえ、それぞれの制度が優れているとする根拠を説明する。 (解答が前問の解答と連動し正答の組み合わせが複数ある問題)
	18				
	19 20				
問 4	21	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 ウ 個人の尊重と法の支配 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割	政府の役割と財政・租税についての理解 国際協力についての理解	概念や理論を活用し、社会的事象等の意味や意義を解釈することができる。	教育費用の負担の在り方に関する一つの考え方を反映する政策について具体的に考察する。
問 5	22	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加の意義 ウ 個人の尊重と法の支配	最高裁判所の違憲立法審査権についての理解 選挙権についての理解 判決文の趣旨を読み取る技能	社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。	最高裁判所が違憲判断をしたことの理解を基礎として、与えられた文章の中から適切なものを選び、それらを論理的な順序に従って並び替え、最高裁判所の判断内容を示す。

第4問 問題のねらい

アダム・スミスの『国富論』を題材として、経済思想や経済政策等についての理解と、概念や理論を活用し、経済活動の意味や結果等について考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	23	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方	自由放任主義の経済思想についての理解 経済に関する資料を読み取る技能	概念や理論を活用し、原因と結果の関連性について考察することができる。	アダム・スミスの「見えない手」の考え方から導き出される事象について考察する。
問 2	24		自由放任主義の経済思想についての理解 経済に関する資料を読み取る技能	概念や理論を活用し、制度や政策の本質、又は日常生活に見られる人々の行為の意味をとらえることができる。	アダム・スミスの考え方に即して、経済活動の意味や結果について考察する。
問 3	25		自由放任主義の経済政策についての理解 市場経済における政府の役割についての理解		自由放任主義的な経済政策の内容をとらえる。
問 4	26	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割	自由貿易に関する理解 経済に関する資料を読み取る技能	概念や理論を活用し、社会的事象等の意味や意義を解釈することができる。	E・H・カーの書いた資料を手掛かりとして、19世紀のイギリスの政治家たちの世界貿易に関する考え方を判断する。
問 5	27		保護主義的な経済政策についての理解		フリードリッヒ・リストが提唱した保護主義的な経済政策についてとらえる。

第5問 問題のねらい

「持続可能な社会」について、政府の役割や社会保障についての理解と、社会保障について、多面的・多角的に考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	28	(3) 共に生きる社会を目指して	「幸福、正義、公正」についての理解 持続可能な社会についての理解		国際連合の報告書「われら共有の未来」の考え方にに基づき、持続可能な社会の実現のための取組みをとらえる。
問 2	29	(1) 私たちの生きる社会 (2) 現代社会と人間としての在り方生き方 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 (3) 共に生きる社会を目指して	社会保障についての理解 高齢者人口に関する統計資料を読み取る技能	社会的事象等を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて、公正に判断することができる。	統計資料を基に、高齢者に対する日本の社会保障に関する課題の解決策について考察する。
問 3	30		政府の役割についての理解 社会保障についての理解	社会的事象等を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて、公正に判断することができる。	介護サービスや介護保険の在り方について、二つの立場から考察する。
問 4	31		政府の役割についての理解 社会保障についての理解	概念や理論を活用し、原因と結果の関連性について考察することができる。	ベーシック・インカムが導入された場合、どのようなことが生じるかを様々な立場から考察する。

第6問 問題のねらい

「食」をめぐる社会問題の解決策の検討を通して、国際社会における貧困や格差についての理解や、現代社会の諸課題を探究するために必要な技能と、多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめる力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	32	(1) 私たちの生きる社会 (2) 現代社会と人間としての在り方生き方 (3) 共に生きる社会を目指して	国際社会における貧困や格差についての理解 問題発見に必要な統計資料を読み取る技能	社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。	持続可能な発展や「共に生きる社会」の形成に参画するという観点から、「食」をめぐる社会問題を発見するために必要な資料を判断する。
問 2	33		「幸福，正義，公正」についての理解 質問や意見を観点に即して整理する技能	社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。	探究学習の結果を示すにあたり，様々な考えをいくつかの観点から分類・整理する。